

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	老人福祉センター建替事業				会計	款	項目	大	小
					01	03	01	06	01
03	01	06	01	53					
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	高齢者生きがい推進課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり			主管課長	横山 友二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	60歳以上の人	意図	老人福祉センターの利用者が安全に安心して施設利用ができるようにする。
事業内容	耐震強度不足、施設の老朽化及びボイラーの耐用年数の大幅な経過に伴い、施設を新築し完成後に既存施設を解体する。平成23年度は、敷地の測量及び建築設計を行い、平成24年度に本館、平成25年度に別館を建築し、平成26年度に外構工事を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度に耐震診断を実施した結果、耐震性に問題があったことから施設の耐震補強工事を計画していたが、費用対効果を考慮したうえで既存施設を閉鎖することなく、敷地内に同施設を新築し、その後既存施設を解体することとした。平成26年6月に別館の工事を完了させ同年7月に全館オープンした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 全体事業に対する進捗率	89	99.99	100	%	→→	年度内歳出÷全体事業費
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	水はけを良くするため、北部高齢者趣味の家（森の倶楽部敷地内）前の碎石を行った。			
事務事業の総計(a=b+c)	10,889,870	119,394,284	887,460				
事業費(b)(円)	10,820,000	119,325,184	812,160				
うち一般財源	4,810,000	108,225,184	812,160				
職員給与費(c)(円)	69,870	69,100	75,300				
人役・職員(人)	0.01	0.01	0.01				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					
					コストの削減	D 大幅に削減すべきである

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	水はけを良くするため、北部高齢者趣味の家（森の倶楽部敷地内）前の碎石を行う。	③取組の課題	整備が完了したことから事業を終了した。
②今年度(H27)に実施した取組	高齢者趣味の家（森の倶楽部敷地内）で陶芸の釉薬作業後にコンクリートたき部を水を使い洗浄するためコンクリートに釉薬の色が付着するのを軽減した。	④今後の改善計画	整備が完了したことから事業を終了した。